

研究科・専攻の教育研究上の目的及び基本方針

人文学研究科 欧米言語文化専攻 博士前期課程

教育研究上の目的

欧米言語文化専攻の博士前期課程では、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する専門知識を基盤とし、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する調査・研究能力と優れた言語運用能力を身につけ、教育・研究をはじめ様々な領域で活躍できる優れた知識と能力を備えた人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的を踏まえ、本専攻博士前期課程では、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する専門知識を基盤とし、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する調査・研究能力と優れた言語運用能力を身につけます。また、本学附設の研究組織である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、教育・研究をはじめ様々な領域で活躍できる優れた知識と能力を備えた人材の育成を目的としています。また、この課程は、言語教育の現場で活躍している社会人の再教育の場を提供することも目標として定めています。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本専攻博士前期課程のカリキュラムにしたがって所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格した者は、以下の能力を身につけていると判断され、修士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

(1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する専門的知識と、それを幅広い視野から社会的な問題と結びつける力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

(1) 高い言語運用能力を駆使して多様な資料にあたって研究を行い、研究成果を国内外で発信することができる。

(2) 研究・教育をはじめ様々な領域で国際的に活躍できる力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

(1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する専門知識を活かし、社会に貢献する力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本専攻博士前期課程は、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野における専門知識を基盤とし、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する調査・研究能力と優れた言語運用能力を培うことを目的とします。教育・研究をはじめ様々な領域で活躍できる優れた知識と能力を備えた人材を育成するために、以下のような教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

(1) 学士課程教育との接続に配慮しつつ、言語運用能力を一層高め活用しながら、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野についての専門知識を学び、それを欧米地域の諸問題に汎用する調査・研究能力を身につけられるカリキュラムを提供しています。

(2) 講義科目では、「言語学」「言語教育・応用言語学」「文学・思想」「歴史・社会」の4コースに区分してカリキュラムを編成し、各コースにおいて専門知識と研究能力を身につけることができるよう科目を配置しています。

(3) 演習科目では、学生自らが設定した研究課題に関して積極的な研究活動を行うことによって修士論文作成へと導くことができるよう科目を配置しています。また、高度な言語運用能力やプレゼンテーション能力の向上のための指導も提供しています。

2. 教育の方法と評価

(1) 講義科目では、各学問分野の専門知識や研究方法を体系的に学ぶため、学生は自ら設定した研究課題に必要な講義科目を選択的に履修できます。演習科目では、各学問分野の研究能力やプレゼンテーション能力を向上させる指導が行われます。

(2) 教育者としての能力を高めるために、TA（ティーチング・アシスタント）を務める機会を用意しています。

(3) 修士論文の作成過程において、公開形式による中間報告会を実施しています。論文の進捗状況を確認し、指導教員のみならず、それ以外の教員や学生から問題点を指摘するなど適切な指導を行っています。

(4) 修士論文の審査には、3名の教員による口頭試問を実施し、適正な評価を行っています。

(5) 単位制度の実質化を図り、成績評価の基準を明確化しています。

アドミッション・ポリシー

(入学者受入の方針)

1. 大学院教育によって培う能力

(1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術学、歴史・社会学、言語教育学などに関する専門知識、それを当該地域の諸特性を踏まえて汎用する調査・研究能力と高度な言語運用能力を身につけます。

2. 本専攻の求める入学者

(1) 本専攻が取り扱う学問分野の基礎知識を有する人

(2) 研究に必要な高度な言語運用能力を備えている人

(3) 研究に対する強い意欲を持ち、研究・教育の分野で活躍することを目指す人

3. 大学までの能力に対する評価（選抜方法）

(1) 研究に必要な言語運用能力、本専攻が取り扱う学問分野の基礎知識、研究に対する意欲の高さを基準に選考します。

人文学研究科 欧米言語文化専攻 博士後期課程

教育研究上の目的

欧米言語文化専攻の博士後期課程では、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する豊かな専門知識を基盤とし、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する高度な調査・研究能力と言語運用能力、深い洞察力を身につけ、人間の本性に関する独創的な研究を行う資質を備えた研究者、教育者の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的を踏まえ、本専攻博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた言語学、文学、思想・宗教学、芸術学、歴史・社会学、言語教育学などの分野に関する専門知識を基盤とし、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する高度な調査・研究能力と言語運用能力、深い洞察力を身につけます。また、本学附設の研究組織である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、人間の本性に関する独創的な研究を行う資質を備えた研究者の育成を目的としています。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本専攻博士後期課程のカリキュラムにしたがって所定の単位を修得し、提出した博士論文が専攻内規に則って審査され合格した者は、以下の能力を身につけていると判断され、博士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
 - (1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などに関する豊かな専門的知識と、それを幅広い視野から社会的な問題と結びつける力を身につけている。
 - (2) 人間の本性に関する深い洞察力と独創的な研究を行う資質を身につけている。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
 - (1) 高い言語運用能力を駆使して多様な資料にあたって研究を行い、研究成果を国内外で発信することができる。
 - (2) 国際的なレベルでの研究活動を行う力を身につけている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
 - (1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などに関する専門知識を活かし、社会に貢献する力を身につけている。
 - (2) 研究・教育界において国際的に活躍できる力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本専攻博士後期課程は、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などの分野における豊かな専門知識を基盤とし、それを当該地域の諸特性を踏まえて汎用する高度な調査・研究能力と言語運用能力、深い洞察力を身につけ、人間の本性に関する独創的な研究を行う資質を備えた研究者を育成するために、以下のような教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施
 - (1) 博士前期課程教育との接続に配慮しつつ、言語運用能力を一層高め活用しながら、言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などについての豊かな専門知識を学び、それを欧米地域の諸特性を踏まえて汎用する高度な調査・研究能力を身につけられるカリキュラムを提供しています。
 - (2) 講義科目では、「言語学」「言語教育・応用言語学」「文学・思想」「歴史・社会」の4コースに区分してカリキュラムを編成し、各コースにおける専門知識と研究能力を身につけることができるよう科目を配置しています。
 - (3) 演習科目では、学生自らが設定した研究課題に関して学際的かつ独創的な研究活動を行うことによって博士論文作成へと導くことができるよう科目を配置しています。また、高度な言語運用能力やプレゼンテーション能力の向上のための指導も提供しています。
2. 教育の方法と評価
 - (1) 講義科目では、各学問分野の高度な専門知識を体系的に学ぶため、学生は自ら設定した研究課題に必要な講義科目を選択的に履修できます。演習科目では、各学問分野の研究能力やプレゼンテーション能力を向上させる指導が行な

われます。

- (2) 研究指導者・教育者としての能力を高めるために、TA（ティーチング・アシスタント）を務める機会を用意しています。
- (3) 博士論文の作成過程において、公開形式による中間報告会と予備審査を実施し、高度な専門知識、独創性と学際性を持った論文作成ができるよう適切な指導を行なっています。
- (4) 博士論文の審査には、5名の教員による論文審査と公聴会を実施し、厳格な評価を行っています。
- (5) 単位制度の実質化を図り、成績評価の基準を明確化しています。

アドミッション・ポリシー	(入学者受入の方針)
---------------------	-------------------

1. 大学院教育によって培う能力

- (1) 言語学、文学、思想・宗教学、芸術文化学、歴史・社会学、言語教育学などに関する豊かな専門知識とそれを当該地域の諸特性を踏まえて汎用する高度な調査・研究能力と言語運用能力を身につけます。

2. 本専攻の求める入学者

- (1) 本専攻が取り扱う学問分野の専門知識と研究能力を有する人
- (2) 研究に必要な高度な言語運用能力を備えている人
- (3) 研究に対する強い意欲を持ち、研究者として活躍することを目指す人

3. 博士前期課程までの能力に対する評価（選抜方法）

- (1) 研究に必要な高度な言語運用能力、本専攻が取り扱う学問分野の専門知識、深い洞察力と独創的な視点、研究に対する意欲の高さを基準に選考します。

Graduate School of Humanities, Course of European and American Languages and Cultures

Master's Program

Diploma Policy (Policy on the conferring of degrees)

Students who have acquired the prescribed credits under the curriculum for this Course's Master's Program and whose submitted Master's thesis was screened and accepted in accordance with the rules for the Course, will be judged as having acquired the following capabilities and granted a Master's degree (Master of Arts in Literature).

1. Judgment and practical ability as an independent citizen of sound sense

- (1) Has acquired expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences, and language education, as well as the capability to apply this knowledge to social issues from a broad perspective

2. International sensibilities and communication capabilities

- (1) Has acquired the capabilities to conduct research utilizing various materials by using advanced language skills and present research results inside and outside of Japan
- (2) Has acquired capability to take part internationally in various domains including academics and education

3. Expert knowledge and skills required to address contemporary issues and social needs

- (1) Has acquired capability to contribute to society by utilizing expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences, and language education

Curriculum Policy (Policy on the organization and implementation of the curriculum)

The goal of this Master's Program is to enable the acquisition of expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences and language education, and cultivate the capabilities to conduct studies and research by widely utilizing this knowledge based on the characteristics of Europe and America, together with the advanced language skills. In order to develop people who possess outstanding knowledge and skills capable of taking part internationally in various domains including academics and education, the curriculum of the Course's Master's Program has been organized as follows.

1. Organization and implementation of the curriculum

- (1) The Master's Program offers a curriculum that, building upon the foundation provided by undergraduate education, enables the acquisition of expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences, and language education, and cultivate the capabilities to conduct studies and research by widely utilizing this knowledge in addressing European and American problems and making effective use of language skills.
- (2) The Course's curriculum features lecture classes that have been organized according to four

specializations: Linguistics, Language Education and Applied Linguistics, Literature and Philosophy, History and Social Sciences. Classes are arranged in such a way that students can develop expert knowledge and research capabilities in each specialization.

- (3) Seminar classes are arranged to guide students through preparing their Master's thesis by letting them actively conduct research in the research theme they have selected on their own. Additionally, the classes offer instructions to improve their language capabilities and presentation skills.

2. Educational methods and evaluation

- (1) The Master's Program allows students to select lecture classes that will be necessary for their selected research themes to develop expert knowledge and research methods required in each academic field. In the seminar classes, students receive guidance on improving their research and presentation skills in each academic field.
- (2) The Master's Program allows students to work as a TA (Teaching Assistant) to enhance their capabilities as educators.
- (3) One component of the process of writing a Master's thesis is the public mid-term progress presentation. This allows students' progress to be verified and appropriate guidance to be provided with possible problems by their thesis advisor and other faculty members.
- (4) Final review of the Master's thesis will take the form of an oral examination carried out by three faculty members, who will then evaluate the thesis as appropriate.
- (5) As a means to ensure that credit acquisition system provide meaningful feedback to students, grading criteria will be made clear.

Admission Policy

1. Capabilities fostered by graduate education

- (1) Students will acquire expert knowledge regarding linguistics, literature, philosophy, religious studies, art studies, history, social sciences and language education, and the capability to conduct studies and research by widely utilizing this knowledge based on the characteristics of the selected regions, together with advanced language proficiency.

2. Entrants sought by the Course

- (1) Persons who possess fundamental knowledge sufficient for study of the academic field covered by this Course
- (2) Persons who possess ability in the effective use of language skills necessary for research
- (3) Persons who possess a strong desire to pursue research and are aiming to be active in the fields of research and education

3. Evaluation of academic ability developed through to the completion of undergraduate education (selection method)

- (1) Applicants who meet the following criteria will be selected: possession of language capabilities necessary for the research, possession of knowledge fundamental to the study of the academic field covered by this Course and strong desire to pursue research.

Graduate School of Humanities, Course of European and American Languages and Cultures

Doctoral Program

Diploma Policy (Policy on the conferring of degrees)

Students who have acquired the prescribed credits under the curriculum for this Course Doctoral Program, and whose submitted doctoral dissertation was screened and accepted in accordance with the rules for the Course, will be judged as having acquired the following capabilities and granted doctorate (Doctor of Literature).

1. Judgment and practical ability as an independent citizen of sound sense
 - (1) Has acquired outstanding expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences, and language education, and the capability to apply this knowledge to social issues from a broad perspective
 - (2) Has acquired deep insights into human nature and aptitude for conducting creative research
2. International sensibilities and communication capabilities
 - (1) Has acquired the capabilities to conduct research utilizing various materials by using advanced language skills and present research results inside and outside of Japan
 - (2) Has acquired capability to conduct research at the international level
3. Expert knowledge and skills required to address contemporary issues and social needs
 - (1) Has acquired capability to contribute to society by utilizing expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history and social sciences, and language education
 - (2) Has acquired capability to take part internationally in research and education

Curriculum Policy (Policy on the organization and implementation of the curriculum)

In order to develop researchers who building upon rich expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history, social sciences, and language education, have high-level capabilities to conduct research by widely utilizing this knowledge based on the characteristics of the selected regions and advanced language capabilities, gain deep insight, and conduct creative research regarding human nature, the curriculum of the Course's Doctoral Program has been organized as follows.

1. Organization and implementation of the curriculum
 - (1) The Doctoral Program offers a curriculum that, building upon the foundation provided by study in a master's program, enables the acquisition of outstanding expert knowledge of linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history, social sciences, and language education, and cultivates high-level capabilities to conduct studies and research by widely utilizing this knowledge based on the characteristics of European and American regions and making highly effective use of language skills.
 - (2) The Course's curriculum features lecture classes that have been organized according to four specializations: Linguistics, Language Education and Applied Linguistics, Literature and

Philosophy, History and Social Sciences. Classes are arranged in such a way that students can develop expert knowledge and research capabilities in each specialization.

- (3) Seminar classes are arranged to guide students through preparing doctoral dissertation by letting them conduct interdisciplinary and creative research in the research theme they have selected on their own. Additionally, the classes offer instructions to improve their language capabilities and presentation skills.

2. Educational methods and evaluation

- (1) The Doctoral Program allows students to select lecture classes that will be necessary for the research themes they have chosen to develop outstanding expert knowledge in each academic field systematically. In the seminar, students receive guidance on improving their research and presentation skills in each academic field.
- (2) The Doctoral Program allows students to work as a TA (Teaching Assistant) to enhance their capabilities as educators and research advisors.
- (3) The process of writing a doctoral dissertation includes a public mid-term progress presentation, as well as preliminary review. These allow guidance to be provided that will aid students in producing a dissertation based in outstanding expert knowledge, originality and interdisciplinarity.
- (4) A rigorous final review of the doctoral thesis will be carried out by five faculty members and will include a public defense.
- (5) As a means to ensure that the credit acquisition process provides meaningful feedback to students, grading criteria will be made clear.

Admission Policy

1. Capabilities fostered by graduate education

- (1) Students will acquire outstanding expert knowledge regarding linguistics, literature, philosophy, religious studies, arts and culture studies, history, social sciences, and language education, and high-level capabilities to conduct studies and research by widely utilizing this knowledge based on the characteristics of the selected regions together with advanced language proficiency.

2. Entrants sought by the Graduate School

- (1) Persons who possess expert knowledge and research capabilities concerning the fields of the Course
- (2) Persons who possess advanced language proficiency necessary for research
- (3) Persons who possess a strong desire to pursue research and are aiming to be active as a researcher

3. Evaluation of academic ability developed through to the completion of a Master's program (selection method)

- (1) Applicants who meet the following criteria will be selected: possesses language capabilities necessary for the research, expert knowledge regarding the academic field covered by this Course, deep insight and original perspective, and a strong desire to pursue research.